

ふれあいネットワーク

社協だよりなかつ

編集・発行：中津市社会福祉協議会

〒871-0021 中津市沖代町1丁目1番11号 中津市教育福祉センター内
 TEL 0979-24-4294 FAX 0979-24-7682 メールアドレス nakatsu@nakatsu-s.or.jp ホームページ <http://www.nakatsu-s.or.jp/> 印刷 大洋印刷紙器株式会社

平成27年度市民後見推進研修会

落語で学ぶ成年後見制度



平成27年度市民後見推進研修会を6月21日に住民・福祉関係者103名の皆様の参加のもと開催しました。この研修会は市民の方々に成年後見制度とは何かを知っていただく機会として毎年開催し、今年で3年目となります。今回は「落語で学ぶ成年後見制度」として、落語家の桂ひな太郎氏をお迎えし「後見爺さん」という演目を通じて、成年後見制度の必要性を身近なこととして笑いを通して伝えていただきました。その後のパネルディスカッションでは、制度の現状や実際の後見活動のお話などを聞くことができました。

もくじ

特集:地域の“チカラ”で、明日を元気に!.....	2~3	福祉サービス情報.....	12
地域福祉情報.....	4~5	生活支援コーディネーターだより.....	13
平成26度事業報告・決算報告.....	6~9	寄付金・香典返し.....	14
共同募金のお礼・ご報告、助成金のお知らせ.....	10	お知らせコーナー・ちいきっと.....	15
豊寿園情報.....	11	お知らせ他.....	16

2015年10月 第63号

『社会福祉協議会』=『社協』

総務課	TEL24-4294	耶馬溪	TEL56-2328
地域福祉課	TEL23-2095	山国	TEL62-2898
福祉サービス課	TEL27-7715	豊寿園	TEL24-2500
三光	TEL43-5194	やすらぎ荘	TEL56-2386
本耶馬溪	TEL53-2245		

で、明日を元気に！

がつていません。
地域的支え合いの取り組みが広
く行われています。



(地域福祉講座の様子)

その中で、自分たちが暮らす地域に何が必要な
のか、身近な地域での関係性の中から気づいた課
題や発見したことを住民自らがつなげ、立ち上がり
自発的な共助の取組みや支え合いの活動が
全国的に広がっています。中津市においても、
寄り合いの場（サロン活動）・見守り・住民型
有償サービスなどの支
え合いの取り組みが広
がつていません。

現在、私たちが暮らす地域においては、急速な少
子高齢化・人口減少・社会的孤立・生活困窮など、
社会的な問題として数多く取り上げられています
が、「その地域で生活している人にしか見えない課
題や問題」も数多くあります。
あつたと参加者から多くの声をいただきました。

平成27年度 地域福祉講座・地域福祉コーディネート基礎研修

“つながり”から地域活動へ

◇地域とともに暮らすために◇

7月4日に地域福祉講座を開催し、住民、地域福祉ネットワーク・小地域活動実践者、各種団体関係者約100名の方の参加をいただきました。講師の全国コミニティライフサポートセンター（CLC）の池田理事長の講演は、全国の様々な地域の支え合い・つながりづくりの事例を交え、その中で、人口等の推移・社会的孤立・介護保険改正の趣旨等を押さえることで、なぜ、住民が主体となつた「地域の支え合い」が必要なのか、実感できる内容で

【参加者アンケートより（一部抜粋）】

- ・支え合いは、支えるだけでなく、支えられることにも考えを変えなければと気づかされた。
- ・制度がないことを考えるのではなく、制度が後からついてくるものだと感じた。
- ・異職種の連携が大切だと言われていますが、その連携が業務を軸として行われるのではなく、地域住民を軸として行われていく事が大事。
- ・地域の実情をしつかり把握し、実情に合った福祉活動を考えることが必要。
- ・事例発表では、実践者の熱意とプラス思考に感心した。
- ・演習では、具体的に作業していく過程の中で色々な意見が聞かれ、改めて皆で話す事の大切さが分かった。
- ・「認め寄り添う」関わりあいを創ってゆくことが強く心に残った。また、地域の人財をかがやかせるということも関わりあいを創っていくことにつながると感じた。
- ・自分の出来る役割を探し、近所同士助け合っていきたい。

【第1回：地域の行事を視点とした、人のつながりをつくる事例発表と演習】



(地域福祉コーディネート基礎研修の様子)

- 事例発表：楽市楽座秋まつり
(北部地区有馬さん)
:ふれあい芋煮交流会
(耶馬渓地区梶谷さん)
演習：誰もが楽しめる盆踊りの企画!
・身近な地域行事から気に掛ける関係へ
・企画を行う過程や「合意形成」が大切

【第2回：福祉を視点とした、人とひととのつながりづくりの事例発表と講義】



(地域福祉コーディネート基礎研修の様子)

- 事例発表：地域ボランティア沖代すずめ
(沖代地区吉田さん)
講義：地域住民の生活課題と地域福祉
(大分大学教育福祉科学部
衣笠教授)
・地域を知る、思いの共有、人財を活かす
・専門職でない、寄り添い認めてくれる存在

◇支え合いの基盤は人との“つながり”◇

だれもが暮らしやすい地域づくりに向けて、自分たち自身で地域づくりを進めていくには、さまざまな住民活動があり、住民のマネジメント力（情報把握・調整力・総合判断力・コミュニケーション力・企画力）が不可欠です。そのマネジメントに必要な基礎力の養成を目的に、「人とのつながりづくり」をテーマとして地域福祉コーディネート基礎研修を開催（2回シリーズ）し、地域福祉ネットワーク及び小地域活動を実践している方に中心に約35名の方が参加されました。

特集 地域の“チカラ”

《活動を通じての
“思い”や“夢”》

- ☆認知症対策として、ゆっくり一緒にお話が出来る場をつくりたい
- ☆何か不安がある場合に、宿泊できる取組みをしたい
- ☆利用している方の特技を生かした、個展の開催
- ☆絵手紙教室などを開催し、見守り活動にもつなげていきたい
- ☆今後も、してあげるのではなく、ともに生きる、ともに喜び、つながっていける場として続けていきたい

中津市内には、地域住民の支え合いの関係をつくる場として、「寄り合いの場(サロン)」がさまざまな形で数多く実施・運営されています。現在(8月末現在、社協把握分)、中津市内で84ヶ所あり、活動の種類も、「いきいきサロン」「ミニデイサービス」「地域サロン」などいろいろな形があります。

◇地域サロンとは◇
民家や空き家などを活用して週1回以上行われている寄り合いの場「地域サロン」があります。市内に84ヶ所(中津市社協把握分)の地域サロンがあり、運営は主に地域住民で構成されるボランティアグループを中心となっています。



	寄り合いの場 名称	開所・開催日・内容	場 所
地域 サ ロ ン 型	地域サロン「すずめの家」 H5年6月開所	毎週 火・金曜 10:00~15:00	中津市中央町2丁目3-2 「すずめの家」
	宮永寄り合い所「福ろうの家」 H17年5月開所	毎週 火・金曜 10:00~15:00	中津市上宮永4丁目42-2 「福ろうの家」
	サロン「めじろの家」 H20年7月開所	毎週 水曜 10:00~15:00	中津市上如水1050-9 「めじろの家」
	「はちどり庵」 H23年1月開所	毎週 月・木曜 10:00~14:00	中津市本耶馬渓町樋田131 樋田酒店 酒蔵
	地域サロン「こまどりの家」 H26年5月開所	毎週 土曜 10:00~15:00 毎週 月曜(いすみの園よりアウトデイ)	中津市一ツ松198-1 「こまどりの家」

地域福祉情報

大幅地区 第4回大幅地区 地域福祉研修会

7／14、大幅「ミユニティセンター」で、地域福祉研修会が開催されました。この研修会はネットワーク協議会「大幅福祉の会『輪』」が主催し、地域のつながりを深めるために毎年7月に開催しています。今年度は、「安心・みんなで見守る住みよい大幅」をテーマとし、福岡県から安心・安全アドバイザーである宮田健一氏を講師に、お笑い防犯講座が実施されました。また講座の後は地域の動きを知つてもらひたため、『輪』の活動報告および「八幡町いきいきサロン光寿会」・「榎原元氣クラブ」の活動報告が行われました。



参加された地区の方々は講師のユーモア溢れる口調に笑いの渦に巻き込まれながら、防犯のことを学ばれています。また自分の住んでいる地域の動きの話にも目を輝かせながら、真剣に聞き入っていました。

住民が主体となって行われている研修会だからこそ、今住民がもっとも関心がある内容に目を向けることができ、また住民曰線で参加者に伝えることが出来るのではないでしょうか。

「住民型有償サービス活動」は、「自分たちの住むまちを、自分たちの手で住み続けられるようにしたい」というした住民の思いを形にした住民自身による地域の福祉活動のことです。

中津市内には現在、北部・沖代・大幅地区に3つのグループがあり、「同じ地域住民として困っていることをお手伝いしますよう」という方がスタッフとして活動しています。



8／1、北部公民館にて、住民型有償サービス「北部えがおサービス10周年記念」が行われました。

北部地区 北部えがおサービス10周年

三光地区では、毎年8月と9月に15自治区じで「小地域ネットワーク会議」を開催しています。会議では、各地区で実施されているいきいきサロンの計画立てや運営面での課題、また地域の課題などについても話し合っています。参加者は主にサロンのお世話をされるボランティアの方、自治委員、民生委員、老人会長、役員の方などで、その会議の場に社協職員や包括支援センター職員、市役所の職員等も参加し、お互いに情報交換を行なう場にもなっています。



8月の会議では、15地区で行つているいきいきサロンの前半の振り返りと後半の日程や内容の確認に始まり、4月からの介護保険改正の説明や認知症支援の話などを行ない、その後サロンや地域での課題などを話しました。毎年行われている会議を通じて、いきいきサロンなど、地域の方々が気軽に交流できる「寄り合いの場」をより良い形で継続していくために、そしてサロンだけでなく地域に目を向けて支え合いの関係を深めていくために、参加者それ

三光地区 地区ネットワーク協議会

それが様々な意見を出しながら地域の福祉について協議しています。

地域福祉情報

地域福祉計画・ 地域福祉活動計画研修会

本耶馬渓地区
♪『なんち言うたち、さかしいんが一番、
なかよしも一番』な地域づくりへ向けて♪

6／30、本耶馬渓公民館にて本耶馬渓地区の自治委員・民生児童委員を対象とした中津市地域福祉計画・活動計画研修会を開催しました。

平成28年度から始まる第3次地域福祉活動計画策定を前に、第2次活動計画作成の経過について振り返りと中津市内で取り組んでいる地域福祉活動についての説明を行いました。

また、「本耶馬渓地区にあつたらしいなと思うもの」というテーマで、グループに分かれて話し合いを行いました。その中で、地域の実情が分かっているからこそ出る意見や、現状では実現するのが無理だと思い意見がなかなか出なかつたりと、それぞれ葛藤があるようでした。

今回、皆さんから出された「あつたらしいな（＝夢）」は、これからの中津市馬渓地区での取り組みを考える上で大切な意見となり、今後、地区の「夢」の実現に向けて、住民や関係機関との話し合いの場づくりが第3次活動計画策定に向けて必要となってきた。



暮らしのサポートセンター りそどり視察研修会

耶馬渓地区

ア／23、下郷地区地域見守りネットワーク協

議会と住民型有償サービス「あんさんべ」会員と合同で竹田市久住町の暮らしのサポートセンター「つらじゅう」に研修に行きました。

雄大な自然に囲まれた、のんびりとした雰囲

気の中で生活支援サービスの実施と寄り合いの場が運営されており、実際の現場を見せていてただくことにより地元の方とも触れ合うこと



源流の郷やまぐに研修会

山国地区

♪山国地区的福祉の未来を考えよう♪

6／15、市山国支所で第1回“源流の郷”やまぐに福祉の会の定例会が行われました。源流の会は、山国地域の福祉の課題や困りごとの解決策を協議し、住民同士で出来ること（共助）、公的機関への連携が必要となるもの（公助）などが共有できるために、山国地域の連携を図る会として活動しています。

今回は、研修会も兼ねて津民地区の見守りネットワークの事例発表を「地域・活き・粹」ネットワーク協議会の橋会長からしていただきました。小地区での見守りネットワークを通して、見守りや声かけ活動、防災訓練の実施、一人ひとりの負担が軽減されていくことなどのお話をありました。

山国地域においても、少子高齢化が急速に進む中で、公的

サービスの限界や地域の結びつきの希薄化が予想されます。山国地区的福祉の未来を考える意味でも源流の会の更なる活動が期待されます。



人とひととの“つながり”～ を目指して！

地域ネットワークの推進

- ◎寄り合いの場支援 78か所
- ◎地域福祉ネットワーク協議会の支援
- ◎災害にも強い地域づくり支援
- ①各地区での活動支援

地震による災害を想定した発生対応型訓練を実施 参加者226名(3地区)
防災教室を実施 参加者75名(2地区)



ボランティア・市民活動センター事業

- ◎ボランティア登録 登録者数3,363名
- ◎春・夏のボランティア体験事業 受入施設 春22ヶ所 夏39ヶ所
体験者 春28名 夏123名
- ◎わいわい福祉ひろば事業 実施校21校 開催回数48回 参加者2,568名(児童保護者他)
- ◎障がい児長期休暇支援事業(さんぽ) 延利用者数205名 延ボランティア数283名
- ◎障がい児(者)余暇活動支援事業(てくてく) 延利用者数132名 延ボランティア数40名



広報並びに啓発・育成活動の充実

- ◎広報紙の発行 社協だより 年3回 34,000部/回 点字版30部/回
地域福祉だより 4紙 隨時発行
ボランティア情報紙 1紙 年6回 2,500部/回
社協事業所広報紙・新聞(6事業所)年12回
- ◎福祉講座等の開催 開催回数24回 参加者357名



その他の福祉事業

- ◎住民参加型有償サービス事業 協力会員46名 利用会員94名 延利用回数825回
- ◎福祉バス(さつき号)運行事業 運行回数175回 延利用者数4,136名
- ◎災害見舞金支給事業 火災見舞金 5世帯
- ◎祝金婚記念品贈呈事業 贈呈数88組
- ◎寝たきり高齢者見舞品贈呈事業 贈呈数148名
- ◎三光児童館事業 延利用者数10,547名
- ◎安心生活支援事業 買い物支援事業(山国地区)利用者28名 支援回数286回
- ◎福祉用具貸出事業 新規貸出件数 電動ベッド48件 車いす149件
- ◎ふれあい郵便事業 発送部数1,210通

社会福祉協議会組織体制の強化

- ◎理事会・評議員会・監事会の開催 理事会6回 評議員会4回 監事會1回
- ◎資質向上のための職員会議・部会等 会議・部会・委員会開催数 239回

平成26年度 事業報告 ~心とこころ~

相談支援体制の強化による在宅福祉サービス

◎介護保険サービス・障がい者支援サービス・受託介護事業

- ・ホームヘルプ事業(2事業所) 延訪問回数14,567回
- ・デイサービス事業(5事業所) 延利用回数22,629回
- ・居宅介護支援事業(3事業所) 計画作成件数3,854件
- ・訪問入浴介護事業(2事業所) 延訪問回数591回
- ・軽度生活援助員派遣事業 延訪問回数775回
- ・居宅介護サービス(障がい者) 延訪問回数1,456回
- ・同行援護サービス 延利用回数266回 ・移動支援サービス 延利用回数73回
- ・福祉の里づくりセンター事業 サポーター登録者589名
- ・特別養護老人ホーム事業(1事業所) 本入荘 実人数105名
- ・短期入所生活介護事業(1事業所) ショートステイ 実人数76名
- ・生きがい活動支援通所事業(4事業所) 延利用回数3,731回
- ・養護老人ホーム事業(1事業所) 入所者実人数36名
- ・チャレンジ元気アップ教室(2か所) 延利用者数280名
- ・ファミリーサポートセンター事業 おねがい会員登録15名/まかせて会員登録42名



◎介護保険要介護認定調査事業 調査件数3,151件

◎放課後児童クラブ事業(5クラブ) 登録児童数117名 延利用回数15,595回

◎生活支援ハウス・ホーム事業(3施設) 実利用者数43名

◎地域包括支援センター事業

- ①総合相談支援業務 相談件数3,790件
 - ②介護予防ケアマネジメント業務 相談対応件数926件 計画作成件数178件
 - ③権利擁護業務 相談件数798件
 - ④包括的継続的ケアマネジメント支援業務 相談件数159件
- ☆介護予防事業普及啓発事業 実施回数年4回 延利用者数130名

◎総合相談支援センター事業 相談実績1,518件

◎成年後見事業

- ①市民後見推進事業
市民後見推進協議会会議3回 市民後見推進研修会1回
成年後見制度普及啓発の講座1回



市民後見人養成講座の開催 講座開催回数12回 受講者数13名
修了者数14名(前年追加受講含)

市民後見候補者フォローアップ研修 講義2回 実務4回

- ②法人後見事業 受任者数2名 受任調整委員会1回

◎福祉サービス利用援助事業(あんしんサポート) 相談件数5,468件 契約者数51名

◎総合相談支援事業

- ①心のケア事業 相談者数39名 ②総合相談受付 相談受付件数99件
- ③生活困窮者自立促進支援モデル事業 実相談者数38件 ④会議・研修会の開催5回

◎生活福祉資金貸付事業 相談延件数368件 貸付件数59件

平成26年度 中津市社会福祉協議会 決算書を公表します

～資金収支計算書～

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

収入		支出	
経常活動による収支			
会費収入	5,490,000	人件費支出	780,753,582
寄附金収入	12,253,561	事務費支出	20,810,060
経常経費補助金収入	104,782,856	事業費支出	249,177,344
助成金収入	340,000	助成金支出	12,538,460
受託金収入	241,636,428	負担金支出	1,200,000
事業収入	28,991,440	経理区分間繰入金支出	64,979,709
共同募金配分金収入	11,111,652		
介護保険収入	653,581,339		
利用料収入	5,489,400		
措置費収入	6,052,910		
雑収入	3,468,284		
受取利息配当金収入	241,302		
経理区分間繰入金収入	64,979,709		
経常収入計(1)	1,138,418,881	経常支出計(2)	1,129,459,155
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)			8,959,726

施設整備等による収支			
施設整備等寄附金収入	1,067,929	固定資産取得支出及び繰入支出	3,982,637
固定資産売却収入	—		
施設整備等収入計(4)	1,067,929	施設整備等支出計(5)	3,982,637
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			△ 2,914,708

財務活動による収支			
積立預金取崩収入	15,967,358	積立預金積立支出	5,424,319
その他の収入	16,081,906	その他の支出	27,645,630
財務収入計(7)	32,049,264	財務支出計(8)	33,069,949
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			△ 1,020,685
予備費(10)			0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			5,024,333
前期末支払資金残高(12)			306,837,717
当期末支払資金残高(11)+(12)			311,862,050

～貸借対照表～

平成27年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債の部		
	当年度末	前年度末		当年度末	前年度末
流動資産	421,417,071	384,964,555	36,452,516	流動負債	109,555,021
預貯金	262,069,471	252,432,488	9,636,983	未払金	92,702,079
未収金	149,060,296	112,312,262	36,748,034	預り金	16,463,586
立替金	61,002	10,500	50,502	前受金	389,356
仮払金	10,226,302	20,209,305	△ 9,983,003	固定負債	219,897,233
固定資産	573,943,333	590,383,519	△ 16,440,186	負債の部合計	329,452,254
基本財産	5,000,000	5,000,000	0	基本金	5,000,000
その他の固定資産	568,943,333	585,383,519	△ 16,440,186	国庫補助金等特別積立金	21,150,534
				その他の積立金	282,230,201
				次期繰越活動収支差額	357,527,415
				純資産の部合計	665,908,150
資産の部合計	995,360,404	975,348,074	20,012,330	負債及び純資産の部合計	995,360,404
					975,348,074
					20,012,330

1. 減価償却累計額391,758,532円(定額法)

～事業活動収支計算書～

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

収入		支出	
事業活動による収支			
会費収入	5,490,000	人件費支出	780,753,582
寄附金収入	12,253,561	事務費支出	20,810,060
経常経費補助金収入	104,782,856	事業費支出	249,177,344
助成金収入	340,000	助成金支出	12,538,460
受託金収入	241,636,428	負担金支出	1,200,000
事業収入	28,991,440	減価償却費	20,978,988
共同募金配分金収入	11,111,652	退職給与引当金繰入	27,645,630
介護保険収入	653,581,339	やすらぎ荘職員退職積立引当金繰入	1,621,884
利用料収入	5,489,400		
措置費収入	6,052,910		
雑収入	3,468,284		
引当金戻入	10,185,024		
国庫補助金等特別積立金取崩額	8,707,132		
事業活動収入計(1)	1,092,090,026	事業活動支出計(2)	1,114,725,948
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)		△ 22,635,922	

事業活動外による収支			
受取利息配当金収入	241,302	経理区分間繰入金支出	64,979,709
経理区分間繰入金収入	64,979,709	雑損失	14,910
事業活動外収入計(4)	65,221,011	事業活動外支出計(5)	64,994,619
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)		226,392	
経常収支差額(7)=(3)+(6)		△ 22,409,530	

特別収支			
施設整備等寄附金収入	1,067,929	固定資産売却損及び処分損(売却原価)	449,610
特別収入計(8)	1,067,929	特別支出計(9)	449,610
特別収支差額(10)=(8)-(9)		618,319	
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)		△ 21,791,211	

前期繰越活動収支差額(12)	368,959,133
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	347,167,922
その他の積立金取崩額(16)	14,161,928
福祉事業積立金取崩額	11,047,128
法人関係備品等購入積立金取崩額	1,700,000
介護保険関係備品等購入積立金取崩額	1,414,800
その他の積立金積立額(17)	3,802,435
福祉事業積立金積立額	3,802,435
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(16)-(17)	357,527,415

～財産目録～

平成27年3月31日現在

(単位:円)

資産の内容		負債の内容	
1.流動資産		1.流動負債	
預貯金	262,069,471	未払金	92,702,079
未収金	149,060,296	預り金	16,463,586
立替金	61,002	前受金	389,356
仮払金	10,226,302		
流動資産合計	421,417,071	流動負債合計	109,555,021
2.固定資産		2.固定負債	
基本財産	5,000,000	全社協退職給与引当金	207,451,545
その他の固定資産	568,943,333	退職積立引当金	2,246,600
		互助共励引当金	3,588,000
		やすらぎ荘職員退職積立引当金	6,611,088
固定資産合計	573,943,333	固定負債合計	219,897,233
資産合計	995,360,404	負債合計	329,452,254
差引純資産			665,908,150



赤い羽根
共同募金

共同募金運動がはじまりました

『あなたの募金は、あなたの町へ』

10月1日▶12月31日

<共同募金運動は地域の福祉活動をささえています>

共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金）につきまして、毎年多くの市民の皆さまにご協力を賜り厚くお礼申し上げます。本年も「自分の町を良くするしくみ」をスローガンに10月1日から全国一斉に募金運動が始まりました。

共同募金の趣旨は「誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすことができ、住民の多様な福祉活動を財源面から支援すること」を目的としております。今年も市民皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

[今年度の目標額]

赤い羽根共同募金	11,357,680円
歳末たすけあい募金	7,167,720円
合計	18,525,400円

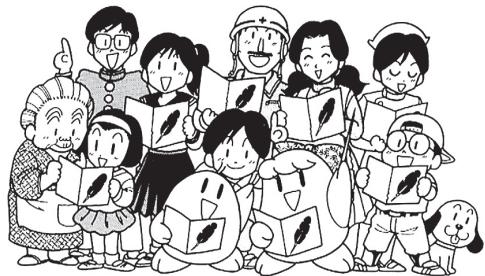
[昨年度の実績]

○募金実績	赤い羽根共同募金	8,976,445円（翌年度に全国・県・市へ還元）
	歳末助け合い募金	6,283,652円（その年度に市へ還元）
	合 計	15,260,097円

○平成26年度 募金財源で実施した事業活動

赤い羽根共同募金	4,828,000円	1. 地域寄り合いの場支援事業(73件) ······ 1,433,000円
		2. 福祉活動支援事業 ······ 2,974,000円 (一般公募7件、ボランティア団体51件、ボランティア推進校11校)
		3. 住民型在宅福祉サービス支援事業 ······ 360,000円
		4. その他事務費 ······ 61,000円

歳末助け合い募金	6,283,652円	1. 寝たきり高齢者見舞品贈呈事業 ······ 499,800円
		2. 福祉機器等貸出事業 ······ 1,655,940円
		3. 地域福祉ネットワーク支援事業(6件) ······ 401,944円
		4. 金婚記念品(写真)贈呈事業 ······ 227,679円
		5. 福祉教育推進事業「わいわい福祉ひろば」 ······ 1,211,662円
		6. ふくしまつり開催事業 ······ 1,058,645円
		7. 災害時要援護者避難支援事業 ······ 1,227,982円



平成28年度助成金配分事業「一般公募」募集します

平成28年度の助成金配分事業の募集を行います。

助成金配分事業とは、地域の中で福祉活動を行う団体・グループが、より福祉活動を行いやすくするため、またその活動を地域の中で広めやすくするために、対象となる事業に対して助成金の配分を行うものです。

なお助成を受けるためには申請が必要となりますので、下記の期間内に申請書を提出して下さい。（様式は、中津市社会福祉協議会のホームページでも掲載しています。）

詳しくは中津市社協窓口までお問い合わせください。

※助成金配分事業は、共同募金を財源として行われている事業です。

◇応募期間 平成27年10月1日(木)～10月30日(金)

<お問い合わせ> 地域福祉課 地域福祉係 ☎23-2095

養護老人ホーム中津市豊寿園

■“生きがいの持てる生活を目指して”

本会が指定管理者制度により、豊寿園を受託運営し早や1年が経過しました。入所される方々が“生きがい”をもって生き活きと生活が送れるよう、この1年を通して様々な取り組みや、また地域の資源である施設として、地域の方々や学校等との交流活動も積極的に実施しました。これからも“つながり”を基本にふれあい活動や親睦を図ってまいります。

また、地域の中には、様々な理由により生活が困難な方がおられるかと思います。本施設の入所条件(下記)にかかるわらず、お困りの方が居られましたらご相談ください。



青の洞門ネモフィラ種まき



道の駅なかつ除草作業



地域防災教室



タンデム大会湯茶の接待



交通安全立哨



地域の方々と盆踊り大会

■養護老人ホームについて

●養護老人ホームとは？

老人福祉法に定められ、身体的・精神的な理由をはじめ、経済的な理由や家庭環境などによって、自宅で生活ができないと判断される、自立した高齢者(65歳以上の方)を受け入れる社会福祉施設です。

●入所はどのように？

養護老人ホームの入所条件は、原則として入院加療の必要がなく自立した65歳以上の高齢者の方となります。入所には診断書などの必要な書類から、入所条件を満たす生活環境・経済状況にあるかどうかを調査し、中津市の入所判定委員会の審査を受け、その結果により入所の可否が決定します。

(入所に関する相談)中津市介護長寿課・高齢者福祉係 ☎22-1111(内線736・737)

●費用・料金は？

入所にかかる費用は、「老人福祉法に基づく負担金徴収規則」に基づき、入居者本人や扶養義務のある家族の収入、課税状況により算定します。入居一時金はありません。月額の利用料の目安は、0～10万円程度となります。

福祉サービス情報

いくつになっても、自分らしく いきいきと暮らしていこう! ～新しい総合事業 通所型サービス(緩和型)～

平成27年4月からの介護保険制度改正に伴い、介護予防・日常生活支援総合事業がスタートしました。この事業は、中津市の事業として、地域の特徴・特色に応じて介護サービス事業所やNPO、ボランティア、市民などの様々な立場の方が参加し、サービスを提供するものです。

介護予防・日常生活支援総合事業のひとつに通所型サービス事業(緩和型)があり、本会では平成27年8月からサービスを実施しております。

○社協の通所型サービス事業(緩和型)とは?

閉じこもりの改善や、健康体操、趣味活動などを通じて介護予防と自立を支援するサービスです。また、栄養改善や、口腔機能の向上なども目的としています。

1週間に1回、午前10時から午後3時ごろまで、送迎と昼食付きで介護予防プログラムやレクリエーションを行い楽しく過ごします。

○どのような人が利用するの?

- ・最近家に閉じこもり気味
- ・人と交流がしたい
- ・なんだか近頃いろんなことがおっくうになった
- ・最近物忘れが気になる
- ・転ばないように足腰を強くしたい

○料金はどのくらいかかるの?

1回につき350円(所得状況で700円)の利用料と500円の食材料費をご負担ください。



○場所はどこでしているの?

社会福祉協議会では下記の二カ所で実施しております。

■生きがい元気アップクラブ三光

中津市三光成恒300番地1
TEL 27-7871

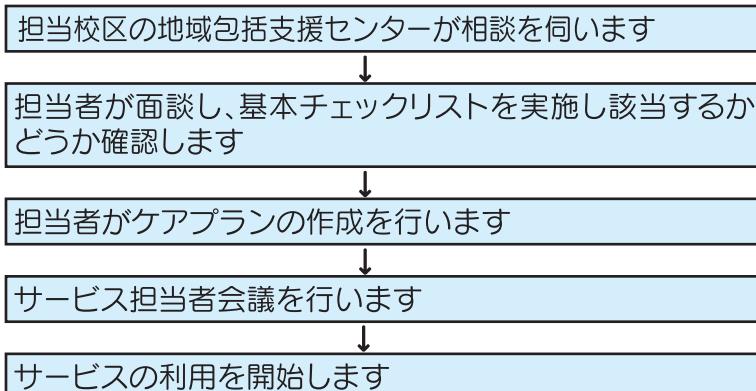
■生きがい元気アップクラブ耶馬渓

中津市耶馬渓町大字樋山路1番地1
TEL 56-2322

○中津市内には他にも通所型サービス事業を行っている事業所があります。

市役所やお近くの地域包括支援センターにお問い合わせください。

○サービスまでの利用の流れ



(生きがい元気アップクラブ三光の様子)

生活支援コーディネーターだより

「生き生きとした生活」への習慣を取り入れ健康寿命を伸ばしましよう!

「介護予防なんてまだ先のこと」と思っていても、自然と老化は進んでいき、不活発な生活と衰弱の悪循環は、介護が必要な状態を作ります。体も心も元気なうちから、将来の自分のために、良い循環の生活をできることから少しずつ取り入れてみませんか？



さらに生き生きとした生活へ！

サロンやサークルで役割があるから生活にハリが出た！

公民館やサロンに行くようになって、人と話すことが増えた。外へ出ると元気がもらえる！

外(地域)に出掛ける心も元気！



筋力が付いてきた。立ち座りも楽になった。

体を動かすことで体力がつく

畠のお世話や買い物も前より楽になった。



習慣的な運動

近所にはなるべく歩いて行くようにして、ちょっとは体を動かすようにしています。

お口のお手入れをきちんとしていると、食事がおいしいなあ！

健康の保持

日頃から、よく食べよく寝る。定期健診も受けて病気は早めに治療！



平成27年度 住民型有償サービス「支え合いスタッフ養成研修」及びフォローアップ研修のお知らせ

中津市社協では介護予防・生きがいづくりの一つとして、住民型有償サービスの担い手を養成しています。地域の中で住民同士が支え合う活動に参加することで、やりがいが生まれ毎日の生活が活性化したり、地域活動から離れていた方が参加するきっかけにも繋がっています。

□日 時 Aコース(本耶馬渓地区会場) 平成27年12月2日(水)、平成27年12月4日(金)
Bコース(旧中津市内会場) 平成28年1月24日(日)、平成28年1月31日(日)
*2日間とも13時～16時30分

□内 容 認知症理解・身体介護・生活援助など活動に必要な内容

□対象者 生活支援サービスを中心とした住民同士による支え合い活動へ関心のある方、すでに参加されている方も受講できます

□費 用 受講費用は無料です

問い合わせ先 中津市社会福祉協議会 地域福祉課生活相談支援係 (TEL 23-2095)

■中津 香典返し

寄付金品について

市民皆様のあたたかい
ご芳志に感謝申し上げます

※平成二十七年五月十五日から
八月三十一日までの受付分を掲載しています。

◇宮本家園	◇池松	◇園諭	◇友公	◇宮泰	◇橋清	◇奥美	◇植和	◇深和	◇高尾	◇井上	ヒロ子
人子	人子	人子	人子	人子	人子	人子	人子	人子	人子	人子	人子
様様	(故)										
(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)
初貞ヨリ子	初子	義子	吉子								
様様	(故)										
牛神町	大塚	是則	島田	京町	大新田	金徳	栄町	三ノ丁	万田	諸田	伊藤田
金一一封	一万円	一封	金三	金三	五金						
封	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

◇粉上秀樹	◇古映樹	◇橋芳	◇辻英	◇蕨博	◇小園	◇野常	◇谷保	◇丸口	◇都仁	◇神智	■本耶馬溪
様様	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)
(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)
一	一日古	豊明	明	高	英	芳	博	久	博	久	秀
封	古	明	様	様	様	様	様	文	文	文	子
金	封	金	封	金	金	金	金	金	金	金	金
金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金
一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
封	封	封	封	封	封	封	封	封	封	封	封
下屋形	跡田	下屋形	折元	西谷	曾木	多志田	西谷	広島県	下屋形	東谷	折元
金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金
一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
封	封	封	封	封	封	封	封	封	封	封	封

一般寄付

■本耶馬溪

◇退職公務員協議会 会長 武石文彰 様

タオル45枚

一般寄付

■山國

◇軍恩山国支部 様

141、
115円

一般寄付

■耶馬溪

◇山移上老人クラブ 様

60、
569円

一般寄付

■中津

◇中津アリス 様

10、
000円

一般寄付

■三光

◇弁護士法人 清源法律事務所 様

金一封

一般寄付

■中津

◇中津市タクシー協会 会長 寺村満義 様

金一封

一般寄付

■山國

◇渋谷信一 様

金一封

一般寄付

■山國

◇月木修一 様

金一封

一般寄付

■山國

◇中島敏之 様

金一封

一般寄付

■山國

◇相良一太 様

金一封

一般寄付

■山國

◇大島哲治 様

金一封

一般寄付

■山國

◇相淨元 様

金一封

一般寄付

■山國

◇曾我典仁 様

金一封

一般寄付

■耶馬溪

◇坂口千卫子 様

金一封

一般寄付

■耶馬溪

◇相良正司 様

金一封

一般寄付

■耶馬溪

◇坂口千卫子 様

金一封

※掲載内容については寄付者ご本人の意思確認により掲載させて
頂いています。

お知らせコーナー

中津市では平成25年度から中津市市民後見人養成講座を開講しており、現在、養成講座を修了された23名の方が「中津市市民後見人候補者」として登録されています。その方々の中から、13名の方が社会福祉協議会のあんしんサポートや法人後見での支援員として、市民ならではの視点で活躍していただいている。

支援員

正路 峯子さん

今年の4月から法人後見支援員として活動をしています。被後見人にかわり銀行や施設へ行き必要な手続き・支払いなどを行っています。

慣れない書類作成やパソコン入力に四苦八苦ししながらも被後見人の方がその人らしく暮らせるように支援していくことにやりがいを感じています。



市民後見人とは？

判断能力が不十分な認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者の権利を守る成年後見活動を担う市民の方をいいます。本人に寄り添い、専門職にはできない身近にいる市民だからこそできる支援をしていきます。

市民後見活動とは？

法人後見支援員として活動されているお2人に
お話を伺いました。



支援員

梶藤 銀子さん

認知症高齢者や身寄りのない人が増えた社会の現状、こういった人たちの支援はいったい誰がするのだろう？と思ったのが市民後見人の講座を受けるきっかけでした。

現在、支援員としてスタートし不安を抱えながらも「心」が通じないと、やりがいを求め奮闘する日々です。



シリーズ

“すてきな” らいきひと (地蔵人)

Vol.27

かじ
梶 谷 一二三さん



梶谷さんは長年、水産業界にて営業や商品開発に従事され、平成22年に故郷である耶馬溪戸原地区に戻って来られました。久しぶりに戻ってきた故郷でしたが、子どもたちが減った一方で、お年寄りが増えており、生活環境も以前とは変わっていました。そこで、地元のために何か出来ないかと考え調べた結果、旧戸原小学校が大正4年まで存在し、生徒がたくさん居たことが分かりました。地域の方々がその歴史を知ることで自分の集落に関心を持つてもらえばと、そこを「がっこん広場」と名付け、地域の方々が交流できる場所として整備しました。

また、お年寄りと子どもたち、その親たちが交流できる機会が持てるよう地元の協力者と共にふれあい芋煮交流会を平成23年より開始、その後は毎年、芋の美味しい季節にはみんなが集うようになりました。現在では地元に定着し、地域を支える大きな柱となっています。

何も無いと考えるのではなく、その地域にあるものを見つけ活かすことで、改めて地域の良さに気付くことが出来るとおっしゃいます。人の気持ちが分かる優しい子どもたちを育み、子ども達がまたこここの集落に帰ってきた時に温かく迎えられるような地域づくりをみんなで行っていきたいとお話しして下さいました。

お知らせコーナー

「第7回 みんなのふくしまつり」を開催!!

市内の子どもから高齢者まで誰もが楽しむことが出来、地域の身近なボランティア市民活動や様々な活動に触れていただき、市民の参加と交流を目的として、ふくしまつりを開催します。当日は、アトラクションや参加・体験コーナー、屋台村コーナーなど様々な催しを予定しておりますので、ご家族、ご近所の方お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

◆日 時：平成27年10月25日（日）

午前10時～午後2時

◆会 場：中津市教育福祉センター、

浅沼記念公園

（中津市沖代町1丁目1番11号）

◆問い合わせ：地域福祉課 地域福祉係

TEL 23-2095まで



（昨年のようす）参加者約1,300人

中津市社会福祉協議会 職員募集！

～あなたの明るさ・優しさを
活かしてみませんか～

【正規職員】○特別養護老人ホームやすらぎ荘介護職員
○ヘルパーステーション本耶馬渓サービス提供責任者など

【臨時職員】○デイサービスセンター本耶馬渓介護職員
○ヘルパーステーション耶馬渓介護職員など

ご応募をお待ちしています!!

* 詳細は、ハローワークや当社協ホームページに掲載しています。

◆問い合わせ：総務課 TEL 24-4294まで

「2015年度県北地区 福祉のしごと就職フェア」開催

日 時：平成27年11月21日（土）

13:00～15:00（受付：12:30から）

会 場：中津市教育福祉センター

（中津市沖代町1-11-1）

対象者：県北地区（中津市、豊後高田市、宇佐市）で

福祉・介護の職場に就労を希望する人

参加費：無料

大分県福祉人材センター

大分市明野東3丁目4番1号

TEL 097-552-7000 FAX 097-552-7002

平成27年度後期 包括社協 オレンジカフェの日程

オレンジカフェとは認知症の人や介護されている方が
気軽に集まり、話をしたり、ほっとする場所です。

月 日	開催場所	
10/14(水)	オレンジカフェ三光	三光福祉保健センター
11/ 7(土)	オレンジカフェ山国	宇曾公民館
11/20(金)	オレンジカフェ耶馬渓	やすらぎ荘
1/ 9(土)	オレンジカフェ山国	宇曾公民館
2/13(土)	オレンジカフェ三光	三光福祉保健センター
2/20(土)	オレンジカフェ耶馬渓	やすらぎ荘
2/26(金)	洞門オレンジカフェ	本耶馬渓支所
3/12(土)	オレンジカフェ上東西	社協本耶馬渓

日程が変更する場合がありますので詳細はお問い合わせください。

包括支援センター社協三光 担当河野まで TEL 43-5390



一昨年から地区の公民館が三世代交流の木工教室を開催!そのおかげで我が子は夏休みの工作苦労しらず♪踏み台、椅子ときて、今年は2段ボックスを制作しました!

何がいいかって、この交流会は子どもがいる家庭の3世代が集合するだけでなく、とんかちを片手に近所のおじいちゃんたちが、また、お風のカレー作りにおばあちゃんたちが子どもたちのために集まってくれます。“大きくなったね”声をかけてくれ、子どもたちと顔見知りに!

そんな交流を通じ、地域の中で一緒に子育てをして貢っているんだとつくづく感じます。地域の皆さん、いつもありがとうございます!(Y.M)